



久山年神社報 第十八号 たよしの杜



宮司 本田孝裕

結婚して仲睦まじい夫婦となりました。

御存じと思いますが、大国主命は出雲大社の御祭神です。この話が所以（ゆえん）となり、現代では出雲大社は縁結びの神と信仰されています。また各地の大国主命を祀る神社では、兔を神使いの動物として大切にしています。

そのほか日本では月と兔も縁が深く、昔から月には兔が住んでいると伝えられています。この話にも神話が残っています。その話は仏教の説話集といわれる「今昔物語集」に収められています。

山中で倒れた老人が猿・狐・兔に食料を集めて欲しいと救いを求めます。しかし兔だけは用意が出来ず「我が身を食べてほしい」と自ら炎の中に飛び込みます。心を打たれた老人はその行動を後世まで称えるため、兔の姿を月に移したといえます。実は老人の正体は帝釈天だったというお話です。このように日本人と兔は昔から縁が深い動物です。

令和五年が、大国主命のように火に優しく、兔のように災いもピンピンと乗り越えて飛躍する年になるようお祈り致します。

『兔（うさぎ）の話』

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

令和五年の干支は癸卯（みずのと）です。十二支の中では犬と並んで可愛らしい兔が主役です。日本人と兔の関係は大変古く、有名な話では日本神話に出てくる「因幡の白兔（いなばのしろうさぎ）」が有名です。

昔むかし、出雲の国に大国主命（おおくにぬしのみこと）という神様と、兄神たちがいました。兄弟たちは因幡で一番美人と有名な八上媛（やがみひめ）がいると聞き、会いに行こうと計画されました。末っ子の大国主命は兄たちの荷物を持たされて遅れてついて行きました。

因幡の浜を歩いていると、一羽の兔が泣いています。兄神たちはその理由を尋ねました。

私は隠岐の島に住んでいる兔ですが、因幡の

浜へ渡りたくて海を泳ぐ鮫（ワニ）という説もあり）に「兔の仲間と鮫の仲間、どちらがどちらか比べてみよう」と嘘の提案して鮫を浜まで並べせ、頭の上を一、二、三・・・と数えながら渡りました。浜に着こうとする直前に私はつい「騙されたね。本当は浜に渡りたかっただけなのさ」と言ってしまった。すると怒った鮫たちから皮を剥がされて痛くて泣いているのです。

意地悪な兄神たちは「海水で体を洗い、風にさらしていると治るよ」と教えます。兔の体はさらにヒリヒリと痛みだしました。そこへ遅れて通りがかった優しい大国主命が同じように理由を尋ね「体を真水で洗い、ガマの穂の上で転がると元通りになるよ」と教えてあげます。言われたとおりにすると体が元通りになり兔の傷が癒えました。

感謝した兔は大国主命に任せ、八上媛に「意地悪な兄神たちより優しい大国主命こそが媛に相応しい神様です」と紹介します。二人は



令和5年 参賀早見表

参賀名	性別	年齢	生まれ年
厄入	男性	数え年41歳 (満40歳になる年)	昭和58年生まれ (いのしし)
	女性	数え年33歳 (満32歳になる年)	平成3年生まれ (ひつじ)
厄明 (厄晴)	男性	数え年42歳 (満41歳になる年)	昭和57年生まれ (いぬ)
	女性	数え年34歳 (満33歳になる年)	平成2年生まれ (うま)
その他の大厄	男性	数え年25歳 (満24歳になる年)	平成11年生まれ (うさぎ)
	女性	数え年19歳 (満18歳になる年)	平成17年生まれ (とり)
還暦	男女とも	数え年61歳 (満60歳になる年)	昭和38年生まれ (うさぎ)
古稀	男女とも	数え年70歳 (満69歳になる年)	昭和29年生まれ (うま)
喜寿	男女とも	数え年77歳 (満76歳になる年)	昭和22年生まれ (いのしし)
傘寿	男女とも	数え年80歳 (満79歳になる年)	昭和19年生まれ (さる)
米寿	男女とも	数え年88歳 (満87歳になる年)	昭和11年生まれ (ねずみ)
七五三	女兒	数え年 7 歳 (満6歳になる年)	平成29年生まれ (とり)
	男児	数え年 5 歳 (満4歳になる年)	平成31 (令和元) 年生まれ (いのしし)
	男女とも	数え年 3 歳 (満2歳になる年)	令和 3 年生まれ (うし)

令和5年 戌の日一覽

1月	4日 (水) ・ 16日 (月) ・ 28日 (土)	7月	3日 (月) ・ 15日 (土) ・ 27日 (木)
2月	9日 (木) ・ 21日 (火)	8月	8日 (火) ・ 20日 (日)
3月	5日 (日) ・ 17日 (金) ・ 29日 (水)	9月	1日 (金) ・ 13日 (水) ・ 25日 (月)
4月	10日 (月) ・ 22日 (土)	10月	7日 (土) ・ 19日 (木) ・ 31日 (火)
5月	4日 (木) ・ 16日 (火) ・ 28日 (日)	11月	12日 (日) ・ 24日 (金)
6月	9日 (金) ・ 21日 (水)	12月	6日 (水) ・ 18日 (月) ・ 30日 (土)

【数え年とは】 神社でのお祓いは数え年で受けま
す。数え年とは、生まれた年齢を0歳とするのでは
なく1歳から数え始めて、新年が明けると誰もが1
つ年をとるという考え方です。誕生日は関係なく全
ての人が表の生まれ年に該当します。七五三を除い
て、通常は対象の年のお正月〜節分の日までを目安
にお祓いを受けます。

【戌の日について】 犬がたくさんの子供を産み、
またお産が軽いことから、これにあやかり安定期に
入る五か月目の戌の日に腹帯を巻く祝いを「着帯祝
い」といい、この腹帯の事を岩のように丈夫に育ち
ますようにと願いを込めて「岩田帯」と呼びます。
神社では子宝に恵まれた事に感謝し、母子の健康と
安産を願って祈願する事が古くからの習わしとなっ
ています。

【神社での祈願】

安産祈願・赤ちゃんのお宮参り・七五三・厄祓
還暦や古稀など年の節目のお祓い・自動車清祓
家内安全・心身健康等の祈願

【出張祭典】

地鎮祭・起工祭・竣工祭・解体家祓・新築や中
古住宅の入居時の家祓・井戸埋祭など

随時受け付けています。

参道を整備をしました

前号で土俵を2メートルほど左側に移動させた事をお伝えしましたが、初詣に間に合うように12月10日(土)と12月11日(日)の二日間にわたり参道の整備を行いました。

以前の参道は土俵を迂回してカーブしており、飛び石のように敷石を敷いてありました。高さも低かったため雨が酷い時は浸水したり、また苔が生えて滑りやすくなっていました。新しい参道は真っ直ぐに高さも高くなり、お参りしやすくなりました。



すべての工事が終了しました

こちらも前号まで何度かお伝えしましたが、県道久山港線の開通に伴う関連工事が、すべて終了しました。二の鳥居下の石碑の移転・石碑周辺の樹木の伐採と移植を行い、今までとは全く違う景色になりました。工事期間中、ご来社の皆さまにはご迷惑をおかけしました。

県道の工事は神社の前にはまだ来ませんが、県とは今年度中に諸工事を済ませるように契約してましたので、間に合わせるよう施工したものです。



新嘗祭 恙なく齋行

今年も11月23日に新嘗祭（新穀感謝祭）を齋行しました。たくさんの方に新米や初穂料を御奉納頂き、お礼申し上げます。
 ご神前に献上し、感謝の祝詞を奏上致しました。また年末にかけて頒布される伊勢神宮の御神札（神宮大麻）頒布始祭の祝詞も奏上しました。

新しい年にはお伊勢さま
 氏神さまのお神札を
 お祀りしましょう

新たにお神札を受けて頂いた方へ特製の神棚をプレゼント中です。詳しくは神社へお問い合わせください。
 （数に限りがあります）



古神札・古神符焼納祭

二月三日（節分）に古い御神札や御守、破魔矢などの縁起物をお焚き上げる「古神札・古神符焼納祭」を齋行します。祭典のあとに、丁寧にお焚き上げ致します。

当日まで境内のテントに納める箱を置きますので、期間中にお納め下さい。受付できるものは、神社の御神札・御守・縁起物です。寺院や他宗教のもの、神社に関係の無いものはお預かりできません。



編集後記

本号でもお伝えしてませんが、二の鳥居下の石碑と周りの樹木を一掃したことにより、たくさんの方に「すっきりして立派になりましたね」とお声を頂きました。遠くからでも二の鳥居が目立つようになり、神社らしい雰囲気になったと思います。今年も少しずつですが、お参りしやすいように環境を整えていきたいと思えます。お参りの際には何かとご不便をおかけしますが、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

本年もよろしくお願ひ致します

- | | |
|-----------|------|
| 宮司 | 本田孝裕 |
| 責任役員 | 南条博 |
| 同 | 山部宣夫 |
| 同 | 木下一郎 |
| 同 | 田中忠昭 |
| 総代 | 市橋晃 |
| 同 | 中村修一 |
| 同 | 池田正昭 |
| 他 奉賛会役員一同 | |

謹賀新年

